

第33回 山陽小野田市新型コロナウイルス対策本部会議

日時：令和3年11月26日（金曜日）15時から

場所：山陽小野田市役所 3階 大会議室

<次第>

1 現状の報告について（健康増進課）

（1）山口県内での新型コロナウイルス発生状況等について・・・1

（2）山陽小野田市新型コロナウイルス感染症患者状況一覧表・・・3

（3）新型コロナワクチン接種等について・・・・・・・・・・9

2 感染拡大防止対策について（総務課）

山口県の感染症対策について・・・・・・・・・・13

3 その他

山口県内での新型コロナウイルス発生状況等について

(1) 山口県での感染者数 5,788人

【入院・宿泊療養等 3人】(11月25日現在)

(市町別)

●下関市	1,384件	●宇部市	713件
●山口市	690件	●萩市	54件
●防府市	548件	●下松市	182件
●岩国市	659件	●光市	99件
●長門市	56件	●柳井市	142件
●美祢市	41件	●周南市	635件
● <u>山陽小野田市</u>	<u>271件</u>	●周防大島町	14件
●和木町	41件	●上関町	8件
●田布施町	50件	●平生町	27件
●県外	174件		

(2) 山陽小野田市内発生状況 271件(11月25日現在)

別紙参照

(3) 行政検査の状況について

累計 204,869件(11月21日まで)

(4) 相談件数について

累計 114,121件(11月21日まで)

令和3年度山陽小野田市新型コロナウイルス感染症患者状況一覧表

2021/11/20

例目		陽性確定日	患者の概要			関係事案
市内	県内		年代	性別	職業	
271	5791	11月19日	30歳代	女性	—	
270	5790	11月16日	10歳未満	男性	—	
269	5789	11月13日	10歳代	男性	—	
268	5788	11月12日	60歳代	女性	—	
267	5787	11月11日	50歳代	女性	—	
266	5786	11月11日	30歳代	女性	—	
265	5785	11月10日	10歳未満	女性	—	
264	5784	11月10日	10歳未満	男性	—	
263	5783	11月10日	10歳未満	女性	—	
262	5782	11月10日	10歳未満	女性	—	
261	5781	11月10日	10歳未満	男性	—	
260	5780	11月10日	10歳未満	男性	—	
259	5779	11月10日	10歳未満	男性	—	
258	5778	11月10日	40歳代	女性	—	
257	5777	11月10日	30歳代	男性	—	
256	5776	11月10日	10歳未満	男性	—	
255	5774	11月9日	10歳未満	女性	—	
254	5773	11月9日	90歳代	男性	—	
253	5772	11月9日	30歳代	女性	—	
252	5771	11月9日	10歳未満	男性	—	
251	5769	11月8日	10歳未満	女性	—	
250	5767	11月7日	60歳代	女性	—	
249	5766	11月7日	30歳代	女性	—	
248	5765	11月7日	30歳代	男性	—	
247	5764	11月7日	10歳未満	男性	—	
246	5763	11月7日	40歳代	女性	—	
245	5762	11月7日	30歳代	男性	—	
244	5761	11月6日	10歳未満	男性	—	
243	5760	11月6日	10歳未満	男性	—	
242	5759	11月6日	10歳未満	男性	—	
241	5758	11月6日	10歳未満	男性	—	
240	5757	11月5日	10歳未満	女性	—	
239	5756	11月5日	10歳未満	男性	—	
238	5755	11月5日	20歳代	女性	—	
237	5754	11月4日	10歳未満	男性	—	
236	5753	11月4日	10歳代	男性	—	

例目		陽性確定日	患者の概要			関係事案
市内	県内		年代	性別	職業	
235	5752	11月4日	40歳代	男性	—	
234	5751	11月4日	40歳代	女性	—	
233	5747	11月1日	10歳未満	女性	—	
232	5733	10月28日	50歳代	女性	—	
231	5732	10月28日	70歳代	女性	—	
230	5731	10月28日	10歳代	女性	—	
229	5722	10月27日	40歳代	男性	—	
228	5721	10月27日	80歳代	男性	—	
227	5717	10月26日	10歳代	男性	—	
226	5714	10月24日	60歳代	男性	—	
225	5713	10月23日	60歳代	女性	—	
224	5709	10月22日	70歳代	女性	—	
223	5708	10月21日	80歳代	男性	—	
222	5706	10月21日	70歳代	女性	—	
221	5705	10月21日	50歳代	女性	—	
220	5682	10月15日	40歳代	男性	—	
219	5443	9月14日	20歳代	男性	会社員	市内第215, 216, 218例目（県内第5348, 5371, 5432例目）
218	5432	9月13日	30歳代	男性	会社員	市内第215, 216例目（県内第5348, 5371例目）
217	5415	9月11日	70歳代	女性	パート	
216	5371	9月9日	20歳代	男性	会社員	市内第215例目（県内第5348例目）
215	5348	9月8日	20歳代	男性	会社員	
214	5291	9月6日	40歳代	男性	会社員	県内第5054例目
213	5204	9月3日	80歳代	女性	無職	下関市における医療機関クラスター ^② 関連
212	5178	9月3日	20歳代	男性	会社員	
211	5116	9月2日	40歳代	男性	会社員	県内第4746例目
210	5115	9月2日	20歳代	男性	会社員	県内第4746例目
209	4937	8月30日	20歳代	女性	病院職員	
208	4936	8月30日	50歳代	女性	無職	市内第192例目（県内第4685例目）
207	4926	8月29日	60歳代	男性	無職	県内第4748,4749,4750例目
206	4876	8月29日	50歳代	女性	パート	市内第202例目（県内第4829例目）
205	4875	8月29日	80歳代	男性	無職	市内第202例目（県内第4829例目）
204	4874	8月29日	10歳代	男性	会社員	市内第196例目（県内第4763例目）
203	4830	8月28日	40歳代	男性	自営業	
202	4829	8月28日	50歳代	男性	会社員	
201	4828	8月28日	20歳代	男性	会社員	調査中（8月29日時点）
200	4827	8月28日	20歳代	男性	会社員	県内第4746例目
199	4766	8月27日	40歳代	男性	自営業	

例目		陽性確定日	患者の概要			関係事案
市内	県内		年代	性別	職業	
198	4765	8月27日	40歳代	女性	飲食店勤務	市内第179,180例目（県内第4612,4613例目）
197	4764	8月27日	20歳代	女性	飲食店勤務	
196	4763	8月27日	40歳代	男性	医療従事者	市内第191例目（県内第4684例目）
195	4762	8月27日	40歳代	女性	会社員	市内第191例目（県内第4684例目）
194	4761	8月27日	20歳代	男性	会社員	
193	4760	8月27日	20歳代	男性	会社員	
192	4685	8月26日	20歳代	男性	会社員	周南市におけるライブイベントクラスター関連
191	4684	8月26日	50歳代	男性	自営業	
190	4683	8月26日	80歳代	男性	無職	
189	4682	8月26日	50歳代	男性	会社員	県内第4593例目、市内第183例目（県内第4616例目）
188	4681	8月26日	40歳代	男性	会社員	県内第4609例目
187	4629	8月25日	20歳代	男性	医療従事者	下関市における医療機関クラスター ^㉓ 関連
186	4619	8月25日	20歳代	女性	会社員	
185	4618	8月25日	50歳代	男性	会社員	市内第186例目（県内第4619例目）
184	4617	8月25日	20歳代	男性	会社員	
183	4616	8月25日	30歳代	男性	会社員	
182	4615	8月25日	30歳代	女性	パート	市内第183例目（県内第4616例目）
181	4614	8月25日	10歳代	女性	学生	市内第180例目（県内第4613例目）
180	4613	8月25日	40歳代	女性	飲食店勤務	
179	4612	8月25日	40歳代	男性	飲食店勤務	市内第180例目（県内第4613例目）
178	4530	8月24日	30歳代	男性	会社員	県内第4193例目
177	4479	8月23日	40歳代	男性	飲食店勤務	県内第3949例目
176	4478	8月23日	20歳代	男性	会社員	山陽小野田市における職場クラスター関連
175	4477	8月23日	30歳代	男性	会社員	山陽小野田市における職場クラスター関連
174	4476	8月23日	50歳代	男性	会社員	山陽小野田市における職場クラスター関連
173	4475	8月23日	20歳代	男性	会社員	
172	4357	8月21日	60歳代	男性	会社員	県内第3952例目
171	4356	8月21日	50歳代	女性	会社員	大阪府陽性者
170	4355	8月21日	10歳代	男性	学生	宇部市における趣味仲間クラスター関連
169	4354	8月21日	50歳代	女性	パート	大阪府陽性者
168	4353	8月21日	60歳代	男性	病院職員	市内第153例目（県内第3870例目）
167	4352	8月20日	30歳代	男性	自営業	
166	4351	8月20日	40歳代	男性	会社員	
165	4287	8月20日	40歳代	男性	会社員	県内第4084例目
164	4286	8月20日	20歳代	男性	学生	県内第4081・4082・4083例目
163	4196	8月19日	20歳代	男性	会社員	
162	4092	8月18日	40歳代	男性	会社員	市内第153例目（県内第3870例目）

例目		陽性確定日	患者の概要			関係事案
市内	県内		年代	性別	職業	
161	4091	8月18日	40歳代	男性	公務員	県内第3754・3863例目、市内第152例目（県内第3869例目）
160	4090	8月18日	20歳代	男性	会社員	
159	3968	8月17日	10歳未満	男性	—	広島県陽性者
158	3967	8月17日	50歳代	男性	会社員	
157	3966	8月17日	50歳代	女性	飲食店勤務	市内第155例目（県内第3964例目）
156	3965	8月17日	50歳代	男性	会社員	市内第155例目（県内第3964例目）
155	3964	8月17日	20歳代	男性	会社員	
154	3963	8月17日	40歳代	女性	会社員	市内第150例目（県内第3867例目）
153	3870	8月15日	60歳代	女性	無職	
152	3869	8月16日	10歳未満	男性	—	県内第3754例目
151	3868	8月16日	40歳代	女性	公務員	県内第3754例目
150	3867	8月16日	40歳代	男性	会社員	
149	3810	8月15日	10歳未満	男性	—	市内第141・142・143・147・148例目（県内第3579・3580・3581・3637・3753例目）・県内第3540例目
148	3753	8月14日	10歳代	男性	学生	市内第141・142・143・147例目（県内第3579・3580・3581・3637例目）・県内第3540例目
147	3637	8月12日	40歳代	男性	会社員	市内第141・142・143例目（県内第3579・3580・3581例目）・県内第3540例目
146	3636	8月12日	20歳代	男性	会社員	県内第3563例目
145	3583	8月11日	10歳未満	男性	—	市内第139・140例目（県内第3536・3537例目）
144	3582	8月11日	40歳代	男性	会社員	市内第139・140例目（県内第3536・3537例目）
143	3581	8月11日	10歳未満	女性	—	県内第3540例目
142	3580	8月11日	10歳代	女性	学生	県内第3540例目
141	3579	8月11日	30歳代	女性	無職	県内第3540例目
140	3537	8月10日	30歳代	女性	会社員	
139	3536	8月10日	60歳代	女性	会社員	市内第140例目（県内第3537例目）
138	3488	8月9日	10歳代	男性	学生	市内第131・132例目（県内第3385・3386例目）
137	3487	8月8日	70歳代	男性	無職	
136	3461	8月8日	30歳代	男性	会社員	市内第131例目（県内第3385例目）
135	3460	8月8日	40歳代	男性	会社員	県内第3364例目・3431例目
134	3416	8月6日	40歳代	女性	会社員	
133	3387	8月5日	30歳代	男性	会社員	県内第3343例目・3367例目
132	3386	8月5日	40歳代	男性	会社員	市内第131例目（県内第3385例目）
131	3385	8月5日	10歳代	男性	会社員	
130	3229	7月26日	50歳代	女性	会社員	市内第129例目（県内第3228例目）
129	3228	7月26日	50歳代	男性	会社員	
128	3218	7月25日	80歳代	男性	無職	市内第127例目（県内第3217例目）
127	3217	7月24日	80歳代	女性	無職	
126	3147	6月30日	30歳代	女性	病院職員	
125	3140	6月29日	40歳代	女性	パート	県内第3115例目

例目		陽性確定日	患者の概要			関係事案
市内	県内		年代	性別	職業	
124	3115	6月17日	40歳代	男性	会社員	
123	2968	6月2日	60歳代	女性	会社員	
122	2853	5月26日	70歳代	男性	無職	県内第2821例目
121	2852	5月26日	50歳代	男性	会社員	
120	2750	5月22日	20歳代	男性	学生	
119	2597	5月19日	40歳代	男性	会社員	
118	2596	5月19日	50歳代	女性	無職	県内第2438例目
117	2487	5月17日	20歳代	女性	学生	
116	2374	5月13日	40歳代	男性	自営業	
115	2060	5月8日	70歳代	男性	無職	市内第112例目（県内第2018例目）
114	2059	5月8日	70歳代	男性	会社員	市内第109例目（県内第1858例目） 防府市における学校クラスター関連、2次感染
113	2058	5月8日	40歳代	男性	会社員	市内第109例目（県内第1858例目） 防府市における学校クラスター関連、2次感染
112	2018	5月7日	60歳代	女性	無職	
111	1945	5月5日	10歳代	男性	学生	防府市における学校クラスター関連
110	1898	5月2日	10歳代	男性	学生	防府市における学校クラスター関連
109	1858	4月30日	10歳代	男性	学生	防府市における学校クラスター関連
108	1787	4月27日	20歳代	女性	学生	
107	1746	4月26日	50歳代	男性	会社員	
106	1724	4月25日	20歳代	女性	学生	県内第1674例目
105	1557	4月18日	70歳代	男性	無職	市内第104例目（県内第1540例目） インターネットを介して知り合ったゲーム仲間クラスター関連
104	1540	4月16日	20歳代	男性	会社員	県内第1499例目 インターネットを介して知り合ったゲーム仲間クラスター関連

新型コロナウイルスワクチン接種について

【ワクチン接種状況について（11月24日現在）】

●全体の接種率

回数	接種率
1回目	86.15%
2回目	85.25%

○高齢者（65歳以上）の接種率

回数	接種率
1回目	93.19%
2回目	92.86%

○一般（12～65歳未満）の接種率

回数	接種率
1回目	79.21%
2回目	78.07%

※国のワクチン接種記録システム（VRS）へ登録された件数を参考としています。

【ワクチン追加接種（3回目）について】

- 対象者 18歳以上で2回目接種完了から8カ月経過した人
- 接種開始 令和3年12月
- 接種券 発送日：令和3年11月22日
発送数：2,469件（主に医療従事者）
※2回目接種完了から8カ月経過する前月下旬に順次発送予定
- 接種回数 1回
- 費用 無料

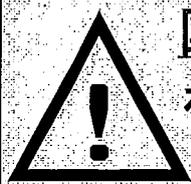


新型コロナウイルスの抗原定性検査キットは「体外診断用医薬品」を選んでください！

「研究用」として市販されている抗原定性検査キットは、国が承認した「体外診断用医薬品」ではなく、性能等が確認されたものではありません。また、「研究用」は、新型コロナウイルス感染の有無を調べることを目的としているものではありません。

「研究用」については、あたかも国が承認したものであるかのような表示をしていた事業者に対し、景品表示法に基づく行政指導がされた例もあります。

新型コロナウイルスの感染が疑われる場合には、受診相談センター又は医療機関に相談してください。

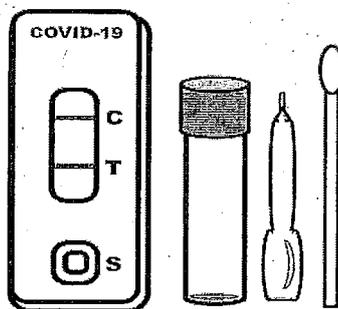
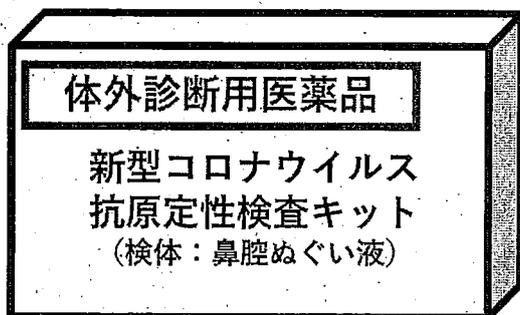


国が承認した「体外診断用医薬品」かどうかをよく確認してから購入しましょう！

※「研究用」は国が承認したものではありません。

国が承認した医療用の抗原定性検査キットは、

- **【体外診断用医薬品】**と表示されています。
- 購入を希望する際は、**取扱い薬局の薬剤師に相談してください**。



※体外診断用医薬品によるセルフチェックを行った場合であっても診断にはなりませんので、留意してください。(診断には医療機関への受診が必要です。)



新型コロナウイルス感染症に係る対処方針について（案）

令和3年11月25日
山口県新型コロナウイルス
感染症対策本部
（危機管理チーム）

新型コロナウイルス感染症の感染状況は、全国的にワクチン接種が進んだこと
もあり、散発的な感染はあるものの、感染者が大幅に少なくなっており、本
県においても、全国と同様に感染状況が落ち着いている。

本県においては、ワクチン接種の有無に関わらず、感染拡大を予防する
「新しい生活様式」の実践や、業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等の遵
守を前提として、国や市町等との連携・協力の下、感染拡大防止と経済社会
活動の維持との両立に向けた取組を推進する。

1 都道府県に求められる措置等の概要

「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像（令和3年
11月12日政府対策本部決定）」や「新たなレベル分類の考え方
（令和3年11月8日コロナ対策分科会提言）」、ワクチン接種の進
捗等を踏まえ、国の基本的対処方針が変更された。

【国の基本的対処方針等による主な取組（緊急事態宣言等が発出されていない区域）】

○ 感染拡大の傾向がみられる場合には、特措法第24条第9項に基づ
き、飲食店に対する営業時間の短縮や、飲食店等及び飲食店等の利用
者に対し、同一グループの同一テーブルでの5人以上の会食を避ける
よう要請を行うこと。

要請に当たっては、営業時間の短縮や第三者認証制度等の遵守を徹
底するための見回り・実地の働きかけを進めること。また、実効性あ
る第三者認証制度の普及と認証店の拡大に努めること。

○ 「三つの密」のある施設等については、地域の感染状況等を踏ま
え、施設管理者等に対して必要な協力を依頼すること。

- イベント等について、特措法第24条第9項に基づき、以下を目安とする規模要件等を設定し、その要件に沿った開催の要請を行うこと。
 - ・ 感染防止安全計画を策定し、都道府県による確認を受けた場合、人数上限は収容定員までかつ収容率の上限を100%とする。
 - ・ それ以外の場合は、人数上限5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方、かつ収容率の上限50%（大声あり）・100%（大声なし）とする。なお、この場合、都道府県が定める様式に基づく感染防止策等を記載したチェックリストを主催者等が作成・公表する。
- 感染拡大の兆候やイベント等におけるクラスターの発生があった場合、人数制限の強化等を含めて、速やかに主催者等に対して必要な協力の要請等を行うこと。
- 帰省や旅行等、都道府県をまたぐ移動は、「三つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底すること。また、緊急事態措置区域及び重点措置区域への不要不急の移動は、極力控えるよう促すものとし、この場合において、ワクチン・検査パッケージ制度の適用を受けた者は、その対象としないことを基本とすること。こうした対応が難しいと判断される場合は、帰省や旅行を控えるよう促すこと。発熱等の症状がある場合は、帰省や旅行を控えるよう促すこと。
- 特措法第24条第9項に基づき、事業者に対して、業種別ガイドラインを遵守するよう要請を行うこと。
- 業種別ガイドライン等を遵守している施設等の利用を促すこと。
- 感染拡大の兆候や施設等におけるクラスターの発生があった場合、政府と連携して、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出の自粛に関して速やかに住民に対して必要な協力の要請等を行うこと。
- 「新しい生活様式」の社会経済全体への定着を図ること。
- 感染の状況等を継続的に監視し、その変化が認められた場合、住民に適切に情報提供を行い、感染拡大への警戒を呼びかけること。
- 感染拡大の傾向が見られる場合には、地域における感染状況や公衆衛生体制・医療提供体制への負荷の状況について十分、把握・分析を行い、地域の実情に応じて、特措法第24条第9項に基づく措置等を講ずること。

2 本県の対処方針

国の基本的対処方針及び山口県新型コロナウイルス感染状況モニタリング会議の意見等を踏まえ、以下のとおり対応する。

(1) 県民への協力要請

- 「密閉・密集・密接」のいわゆる「三つの密」を避け、マスクの着用やまめな手洗い・手指消毒、共用部分の消毒など、感染拡大を予防する「新しい生活様式」等を活用した基本的な感染予防対策を徹底するよう要請。
- 外出の際には、業種ごとの感染拡大予防ガイドラインを遵守している施設等を利用するとともに、外食する際は、感染防止対策に取り組む「やまぐち安心飲食店」等を利用し、飲食店から求められる感染防止対策に協力するよう要請。
- 発熱や咳など感染を疑う症状が出た場合には、外出や人との接触は避け、速やかに、かかりつけ医や受診・相談センター等に相談。

(2) 事業者・関係団体への協力要請

- 感染予防及び感染拡大防止のため、発熱や咳など感染を疑う症状がある従業員等に対する在宅勤務（テレワーク）や健康管理への格別の配慮を要請。
- 時差出勤・在宅勤務等による3密回避など、感染拡大を未然に防止する対策の徹底。
- 感染拡大予防と経済社会活動の維持との両立に向け、職場ごとに感染症対策担当者を選任し、業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等を踏まえ、事業者が提供するサービスに応じた具体的な感染予防策を実践。
- 飲食店の感染防止対策を県が定める基準により認証する、やまぐち安心飲食店認証制度を活用した感染防止対策を強化。
- 飲食店等でクラスター（集団感染）が発生するなど、感染拡大の恐れがある事態が発生した場合は、関連地域・業種での迅速な実態把握と営業時間短縮の要請等の対策を検討。

(3) 学校等の対応

ア 公立学校（幼小中高特）

- 子どもたちの学びを保障するために、感染拡大防止に最大限の対策を講じた上で、学校教育活動を継続して実施。
- 高等学校生徒・教職員等へのPCR検査実施（随時）。
- 市町立の小・中学校、幼稚園及び幼稚園型認定こども園等においては、各地域の実情に応じて、学校教育活動を実施。
- 特に、集団感染のリスクがある、寮・寄宿舎については、感染症対策を徹底。
- 感染症に対する誤解や偏見に基づくいじめや差別を防ぐための啓発活動を強化。

イ 私立学校（幼中高、専修・各種学校）

- 高等学校生徒・教職員等へのPCR検査実施（随時）。
- 県立学校の対応を踏まえ、各校の実情に応じて、学校教育活動を実施。

ウ 保育所等

- 感染の予防に留意した上で、全ての保育所及び認定こども園（幼保連携型、保育所型）において、開所を継続。

(4) 県有施設、県主催イベント等の取扱い

- 県有施設の運営や県主催イベントの開催に当たっては、業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等を踏まえ、施設やイベントごとに適切な感染防止対策を徹底。
また、本県の感染状況について、レベル3への移行が見込まれる場合は、県有施設の休館や県主催イベントの中止又は延期等を検討。

＜イベント開催制限等＞※国事務連絡より抜粋

	感染防止安全計画策定 (参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベントに適用)	その他 (安全計画を策定しないイベント)
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率	100%	大声なし：100% 大声あり：50%

※安全計画策定イベントでは、「大声なし」の担保が前提

※「大声」を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」に該当するものとする

※収容率と人数上限のどちらか小さい方を限度（両方の条件を満たす必要）

- 各部局及び市町を通じて、関係する施設管理者やイベント主催者等に対し、業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等を踏まえた適切な感染防止対策を講じるよう周知。
- 5,000人超かつ収容率50%超のイベントの感染防止安全計画の確認に対応。
- 感染防止安全計画を策定しないイベントについて、イベント主催者等が、県が定める様式に基づく感染防止策等を記載したチェックリストを作成・公表・保管するよう周知。

(5) 医療提供体制のひっ迫状況や感染状況の継続的な監視等

- 県内の医療提供体制のひっ迫状況や感染状況を把握するため、国の分科会が示した指標及び、県が独自設定した指標により、継続的にモニタリングを実施。
- 専門家で構成する「山口県新型コロナウイルス感染状況モニタリング会議」の意見等を踏まえ、感染状況のレベル(0～4の5段階)を総合的に判断。

<感染状況のレベル（国分科会）>

レベル0	新規感染者数ゼロを維持できている状況
レベル1	一般医療とコロナ医療の両立ができている状況
レベル2	医療の負荷が生じはじめている状況
レベル3	一般医療を相当程度制限しなければ対応できない状況
レベル4	一般医療を大きく制限しても対応できない状況

<モニタリング指標>

指 標		レベル2	レベル3	レベル4
医療提供体制	①確保病床使用率	20%以上	50%以上	100%超
	②重症病床使用率	20%以上	50%以上	100%超
	③3週間後に必要とされる病床数（推計値）	＝	確保病床数以上	＝
	④療養者数	320人以上	800人以上	1400人以上
感染状況	⑤直近1週間の新規感染者数	204人以上	340人以上	＝
	⑥直近1週間のPCR検査等陽性率	5%以上	10%以上	＝
	⑦直近1週間の感染経路不明な者の割合	50%以上	50%以上	＝

(6) 県民・事業者等への情報発信

- 感染拡大を予防する「新しい生活様式」の普及・定着及び適切な感染防止対策の徹底等について、県民や事業者等へ周知。
- 本県のモニタリング指標や全国の感染状況等を情報提供。
- 感染者や医療従事者等が差別的取扱い等を受けないよう、偏見・差別・誹謗中傷等の防止を呼びかけ。
- 県民や事業者等への周知・注意喚起に当たっては、県ホームページやSNS、各種メディア等を通じて、重層的に情報を発信。
- 接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード及び利用を周知。

3 感染拡大に備えた対応

(1) PCR等検査体制の強化等

- 保健所への自動遺伝子検査装置の導入や民間検査機関の活用等により、PCR等検査体制を拡充するとともに、地域の診療所等が行う抗原検査を積極的に活用。
- 診療・検査医療機関や地域外来・検査センターなど身近な場所で、相談・診療・検査が提供できる体制を整備。
- 全ての新規陽性者に対する変異株スクリーニング検査や変異株の陽性者が確認された場合の幅広い接触者調査など、変異株に対する監視体制を強化。

(2) 医療提供体制の拡充

- 全ての患者が症状に応じ、病院での入院や宿泊療養施設での療養ができるよう、受入体制を確保。
- 想定を超える感染爆発が発生した場合における緊急時用病床の運用、臨時の医療施設の開設。
- 子育て等の理由により、やむを得ず自宅療養となる方に対する健康管理や生活支援の体制の確保。

(3) 医療用物資の安定供給

- 国が責任を持って確保する医療用物資等については、国の保有状況調査等により、医療機関の在庫状況を把握し、適切に配布するとともに、県としても、感染拡大時に医療機関等へ適切に供給できるよう、マスクや防護服等の医療用物資を備蓄。

(4) 病院・高齢者施設等における感染予防対策の徹底

- 病院・高齢者施設などで感染が発生した場合、適切な感染拡大防止対策を講じるとともに、早期の実態把握及び陽性者の入院等の迅速な対応により、クラスターの早期封じ込めを実施。
- クラスターが発生した場合、クラスター対策チーム等を派遣し、保健所との連携のもとで、施設内のゾーニングや職員等への感染対

策指導、入所者の健康管理等、感染拡大防止に向けた専門的な支援を実施。

(5) ワクチンの接種体制の整備

- 新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすため、感染対策の切り札として期待の高いワクチンを、希望する方々が安全で迅速に接種できるよう、万全の接種体制を整備。
- 県民がワクチン接種に対し不安を感じることがないように、十分な情報提供やきめ細かな相談に対応。

(6) まん延防止等重点措置の要請等

- 本県の全域に感染が拡大するおそれがあり、かつ、医療提供体制に支障が生ずるおそれがあると認められる場合は、本県をまん延防止等重点措置の対象区域とする国への要請を検討するとともに、より強い感染防止措置を検討・実施。

(7) ワクチン・検査パッケージ制度の導入

- 将来の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等においても、飲食やイベント、人の移動等の各分野における行動制限の緩和を可能とするため、ワクチン・検査パッケージ制度を導入。

イベントの開催制限等（概要）～R3. 11. 25 以降の取扱い～

1 適用開始

11月25日（木）

2 必要な感染防止策の対応状況の確認（県への事前確認）等

区分		主催者等の対応
1	参加人数 5,000 人超かつ 収容率 50%超のイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止安全計画の策定 ・<u>県への事前確認（開催2週間前まで）</u> ・結果報告書の県への提出（終了後1か月以内）
2	上記以外のイベント 県への確認不要	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの作成 ・主催者のHP等での公表、保管（1年間） ・結果報告書の作成・保管（1年間）

※感染防止安全計画策定の適用は、12月9日（木）以降に開催されるイベントが対象

※1,000人超のイベントが対象の県への事前相談は廃止（収容率上限100%適用も同様）

※区分2のチェックリストの公表等は、規模に関わらず、全てのイベントが対象

※区分1・2とも、問題が発生（クラスター発生、感染防止策の不徹底等）した場合は、結果報告書を直ちに県及び関係府省庁に提出

3 新たな制限の内容

- ・ 5,000人超かつ収容率50%超のイベントは、安全計画策定により、人数上限等が緩和
- ・ 緊急事態措置区域又はまん延防止等重点措置地域は、ワクチン・検査パッケージ制度の適用により、人数上限*を「収容定員まで」緩和
- ・ その他区域は、ワクチン・検査パッケージ制度の適用による緩和はなし

		安全計画策定	その他
緊急事態 措置区域	人数上限	10,000人*	5,000人
	収容率	100%	大声なし：100% 大声あり：50%
まん延防 止等重点 措置地域	人数上限	20,000人*	5,000人
	収容率	100%	大声なし：100% 大声あり：50%
その他区域	人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50% のいずれか大きい方
	収容率	100%	大声なし：100% 大声あり：50%

※ 安全計画策定イベントでは、「大声なし」の担保が前提

※ 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度（両方の条件を満たす必要）

(留意事項等)

＜「大声あり」の該当＞

「大声」とは、「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」で、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベント
(例) 観客間の大声・長時間の会話、スポーツイベントでの反復・継続的な応援歌の合唱
※従前の「大声での歓声・声援等が想定されるものの例」等による区分は廃止

＜飲食を伴うイベントの対応＞

飲食を伴うイベントは、飲食専用エリア以外（観客席等）において自粛を求める。
ただし、発声が無いことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため飲食時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。

＜収容定員の設定がない会場（屋外イベント含む）での制限緩和の扱い＞

- ・ 大声なし、人と人が触れあわない程度の間隔を確保して実施する場合
⇒ 人数上限や収容率の緩和の対象（安全計画策定）
- ・ 十分な人と人との間隔（できるだけ2m、最低1m）を確保して実施する場合
⇒ 人数上限や収容率の緩和の対象外（安全計画策定不要）

(参考)

＜「その他区域」で、人数上限等の緩和が適用（安全計画策定）される例＞

収容定員 12,000 人の会場（大声なし）での人数上限等の扱い
通常： 6,000 人まで（収容定員 50%） 緩和適用： 12,000 人まで

4 安全計画の記載項目

(1) 次の7項目の具体的な感染防止策

項目	内容
① 飛沫の抑制の徹底	適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声を出さないことの周知・徹底等
② 手洗、手指・施設消毒の徹底	こまめな手洗や、手指・施設内の消毒の徹底等
③ 換気の徹底	法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気の徹底
④ 来場者間の密集回避	入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施等
⑤ 飲食の制限	飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底等
⑥ 出演者等の感染防止策	有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者やスタッフ等の健康管理の徹底等
⑦ 参加者の把握・管理等	チケット購入時又は入場時の連絡先把握やアプリ等を活用した参加者の把握、直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起等

(2) ワクチン・検査パッケージ制度を適用する場合の実施方法（人数上限緩和希望の場合）

- ① 検査方法（PCR 検査、抗原定量検査、抗原定性検査等の種別及び事前送付、現地検査等の実施の有無等）
- ② 「ワクチン接種歴」又は「検査結果の陰性」の確認方法

県民の皆様・事業者の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染症の感染状況は、全国的にワクチン接種が進んだこともあり、散発的な感染はあるものの、感染者が大幅に少なくなっています。

本県においては、全ての市町で希望者への2回目のワクチン接種が概ね終了しており、全国と同様に感染状況は落ち着いています。

こうした状況から、国の基本的対処方針を踏まえ、県外移動や会食、イベント収容人数などの行動制限について緩和をしましたが、ワクチン接種が進んだ欧州などにおいて感染が再拡大している例もあることから、感染の再拡大に備え、医療提供体制の強化・充実を図るとともに、引き続き、基本的な感染防止対策を継続していく必要があります。

県民・事業者の皆様には、感染の再拡大による医療提供体制のひっ迫を避けるため、以下の取組に、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

<感染予防対策の徹底>

- ◎ ワクチン接種の有無に関わらず、引き続き、「新しい生活様式」を実践いただき、3密を避け、「マスクの着用」、「まめな手洗い・手指消毒」など、基本的な感染防予防対策の徹底をお願いいたします。
- ◎ 外出にあたっては、業種ごとの感染拡大予防ガイドラインを遵守している施設等を利用するとともに、外食する際は、感染防止対策に取り組む「やまぐち安心飲食店」等を利用し、飲食店から求められる感染防止対策には協力してください。
- ◎ 発熱や咳など感染を疑う症状が出た場合には、外出や人との接触は避け、速やかに、かかりつけ医や受診・相談センター等に相談してください。

<企業活動等における注意>

- ◎ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインを遵守するとともに、在宅勤務(テレワーク)やWeb会議の活用等により、人との接触機会を低減する取組を促進するようお願いいたします。
- ◎ イベントの実施にあたっては、県の示す規模要件に基づき開催し、参加人数が5千人超かつ収容定員が50%超となる場合は、安全計画を策定して県の確認を受けてください。
- ◎ 安全計画を策定しないイベントについては、県の示すイベント開催時に必要となる感染防止対策への対応状況をホームページ等で公開するようお願いいたします。

<ワクチン接種の検討>

- ◎ ワクチン接種は発病と重症化を予防しますので、ワクチンの効果と副反応等のリスクを理解し、接種をご検討ください。
- ◎ ワクチン接種後も、基本的な感染予防対策を徹底し、「うつさない」「うつらない」行動をお願いします。

<感染された方等への差別・偏見の防止>

- ◎ 感染者自身のほか、最前線で治療にあたる医療従事者、感染者が発生した団体に属する方、県外との往来のあった方や外国人等に対する誹謗中傷や差別は絶対にやめてください。
- ◎ ワクチンを接種していない方及び接種できない方に対しても同様に、誹謗中傷や差別等を絶対にしないようお願いします。
- ◎ 公的に出される情報を確認して、根拠のない情報やうわさ話などに惑わされないよう注意をお願いします。

令和3年11月25日

山口県知事 村岡 嗣 政

イベント開催時のチェックリスト 別紙2

開催概要

本項目では、チェックリストを記入する前に、イベントの情報をご登録ください。

イベント名

※開催案内等のURLがあれば記載

出演者・
チーム等

※多数のため収まらない場合は、別途、一覧を添付

開催日時

令和 年 月 日 時 分 ~ 時 分

※複数回開催の場合は、別途、開催する日時の一覧を添付

開催会場

会場所在地

主催者

主催者
所在地

主催者
連絡先

(電話番号)

(メールアドレス)

収容率
(上限)

100% (※)
(大声なし)

人と人が触れ合わない
程度の間隔

50% (※)
(大声あり)

十分な人と人との間隔
(できるだけ2m、最低1m)

収容人数

〇〇,〇〇〇人

参加人数

〇〇,〇〇〇人

その他
特記事項

(大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください。)

(※) 大声の定義は、「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

感染防止策チェックリスト

基本的な感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底



【大声なしの場合】
飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

（※）大声の定義は「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

【大声ありの場合】
「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

②手洗、手指・施設消毒の徹底



こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。



主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。

③換気の徹底



法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上等）の徹底。

④来場者間の密集回避



入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。



休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。



大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保

感染防止策チェックリスト

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要

⑤ 飲食の制限

- 飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
- 飲食中以外のマスク着用の推奨。
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。
- 自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）。

⑥ 出演者等の感染防止策

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
- 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
- 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）。

⑦ 参加者の把握・管理等

- チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
- 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
- 時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

○イベントの情報

イベント名	
出演者、チーム	
開催日時	
主催者	
主催者所在地（都道府県、市区町村、番地等）	
開催会場（名前）	
会場所在地（県、市町、番地等）	
会場収容定員	
予定参加者数	
当日参加者数（不明の場合は“－”を入力）	
催物の類型	
安全計画策定の有無	

※ご報告いただいた内容については、関係各府省庁・各都道府県において、イベント開催の目安設定等の際の判断の参考とさせていただきます。

○**感染者の参加** →大規模クラスター発生の場合は、別途、行政による調査にご協力ください

感染者発生の有無	
感染者数及び確認時点	○,○○○人（○月○日時点）
疑われる感染の態様	
対応状況	
考えられる感染の原因 ※イベント自体ではなく、家庭内感染や催物前後の共通行動が原因と考えられる場合は、その旨ご記載ください	

○**感染防止策不徹底（感染防止安全計画の記載内容の未実施等を含む）**

感染防止策不徹底の有無	
具体的な不徹底事由	
不徹底の原因	
今後の改善策 （具体的行動、スケジュール）	

※ご報告いただいた内容については、関係各府省庁・各都道府県において、イベント開催の目安設定等の際の判断の参考とさせていただきます。

催物の類型の一覧

クラシック音楽（交響曲・管弦楽曲・協奏曲・室内楽曲・器楽曲）
クラシック音楽（声楽曲）
歌劇・楽劇
合唱
ジャズ
吹奏楽
民族音楽
歌謡曲
現代演劇
児童演劇
人形劇
ミュージカル
読み聞かせ
手話パフォーマンス
バレエ
現代舞踊
民族舞踊
雅楽
能楽
文楽・人形浄瑠璃
歌舞伎
組踊
邦舞
講談
落語
浪曲
漫談
漫才
奇術
各種講演会
コンベンション（学会等）
説明会
ワークショップ
各種教室
行政主催イベント
タウンミーティング
入学式・卒業式
成人式
入社式
各種展示会
商談会
各種ショー
ロックコンサート
ポップコンサート
スポーツイベント
競馬
競輪
競艇
オートレース
キャラクターショー
親子会公演
ライブハウスにおける各種イベント
ナイトクラブにおける各種イベント
映画館
博物館
動植物園
水族館
遊園地
地域の行事（盆踊り等）
全国的・広域的な人の移動が見込まれる行事
その他

感染の態様

演者等の間
観客等の間
スタッフ等の間
演者等と観客等の間
演者等とスタッフの間
観客等とスタッフの間
演者・観客・スタッフ等の間
複合的
家庭内感染
催物前後の共通行動
不明